



# エコふなばし

環境新聞  
創刊号

2008年3月15日  
船橋市環境部  
環境保全課

## 今日の環境問題 — 理解と関心から協力・連携へ



上の2枚の写真は、船橋市の今と近未来の環境を象徴しています。

左は、ふなばし三番瀬海浜公園で平成18年5月に撮影しました。夏鳥のアジサシが集団で飛び、遠くに残雪の富士山が映えています。空気がきれいになり、100km以上離れた富士山が5月でも望めました。また、アジサシは野鳥の生息の場としての三番瀬を代表する夏鳥です。

下水道の整備などの対策に努めた結果、空気や水は徐々にきれいになりました。

右は緑化フェア（平成19年10月）開催中のアンデルセン公園で撮影されました。写真の蝶はナガサキアゲハで、主に九州・四国地方で生息しています。ところが、温暖化により関東地方にも生息域を広げ、本市でも確認されました。地球温暖化の影響がナガサキアゲハに表れています。



### これまでの取り組み

船橋市は、環境基本計画において「未来へつなぐ健全で恵み豊かな環境」の実現を目指し、

#### ①自然のサイクルを大切にす循環型社会の構築



#### ②自然との共生と安らぎの確保



#### ③地球環境保全への貢献



④みんなで参加する環境学習・保全行動を基本方向に様々な事業を進めてきました。

#### 改善進む水や空気

私たちの身近な大気、水質については徐々に改善されています。

海老川は浄化が進み、鮎の稚魚が遡上したことがニュースになりました。大気汚染も自動車排出ガス対策の進展により良好傾向が認められています。

#### 過去の遺産による問題

アスベスト、土壌汚染など過去の経済活動に伴う環境汚染が、負の遺産として発生することもまたありました。これらの問題は、健康への影響が心配されるので、調査に並行して除去対策を進めています。

#### 深刻化する地球環境問題

地域の環境とは裏腹に、地球的規模の環境は悪化しています。

21世紀に入り地球温暖化問題を始

めとする地球環境問題がさらに深刻さを増しています。

特に平成19年2月に発表されたIPCC（気候変動に関する政府間パネル）4次報告では、「気候システムに温暖化が起こっている」と断定するとともに、「人為起源の温室効果ガスの増加が温暖化の原因」とほぼ断定しています。

### 理解と関心から協力・連携へ

今日の環境問題を解決する為には、現況を把握し、計画的な対策の推進が不可欠となっています。

また、市・市民・事業者が一体となって環境保全に取り組むことが不可欠です。

### この新聞の目指すもの

この環境新聞では、船橋の環境の生きた情報を提供し、地球温暖化問題をはじめとする地域から地球的規模での環境問題への理解を深めていただける紙面づくりを進めていきます。



## 船橋市地球温暖化対策地域推進計画を策定しました

地域に根ざした温暖化対策を総合的かつ計画的に実施するため、船橋市地球温暖化対策地域推進計画を本年3月に策定しました。計画及び同概要版は市のホームページに掲載しています。

### 1. 計画の背景

地球の温暖化は、エネルギーや資源を消費し、大量の温室効果ガスを排出することが原因となって生じているため、私たちの日常生活や事業活動などの社会的活動のすべてに深い関わりがあるといえます。そのため、私たち一人ひとりが、自身の日常生活や事業活動の進め方などについて点検を行い、限られた資源の有効活用や既に利用された資源の循環活用、新たなエネルギーの開発・利用などをすすめ、循環を基調とする持続的な発展が可能なくみに変えていくように、努力していく必要があります。



### 2. 計画策定の経過

実効性のある計画とするためには、策定の段階から様々な主体の参画の必要があります。このため、地球環境問題に造詣の深い識者の方、実際に温暖化に取り組んでいる方、取組みの主体となる方、教育関係の方、排出事業者などで構成される策定委員会を設置しました。

また、素案の段階で説明会やパブリックコメントを実施し、可能な限り市民の皆様の意見を取り入れて策定しました。



## 策定委員会からのメッセージ

### ■温暖化防止の主役はわたしたち

温暖化防止の鍵は、私たち市民自身が握っています。私たちは、消費者であり、生産者であり、教育者であり、納税者でもあります。また、政策決定プロセスへの参加など、あらゆる場面で温暖化防止の意思表示を行うことができます。それらの集積が、産業構造の変革や政府を動かす、「低炭素社会」へ向けて日本を変えていきます。

### ■低炭素社会に向けて

事業者も、生産活動や製品・サービスの改善に努力することで、温室効果ガスの低減に重要な社会的責任を担っています。

市町村も、「低炭素社会の実現」に大きな責務があり、積極的な対応が求められています。

IPCC報告が警告する温暖化の影響予測を現実のものとしなないための日本やEUの大幅な温室効果ガス削減提案に対して、京都議定書の削減目標は、ほんの最初の一步に過ぎません。

### ■目標は10%削減

船橋市地球温暖化対策地域推進計画では、2012年度（目標年）の市民一人当たりの温室効果ガス排出量を1990年度（基準年）比で約10%削減することを目標にしています。

### ■ひとりから始まる99対1の原則

99対1の原則によりますと、100人の中の1人はまず自分自身であり、それが10人に広がれば、時代が動き出すといわれています。船橋市民の10%すなわち6万人の意識が変われば、58万の市民が動き出します。

1日でも早く6万人の船橋市民が、この温室効果ガス削減計画に参加して、船橋市のみならず、全千葉県民へと波及していくことを願って本計画を作成しています。

# 環境イベント紹介

4月-6月	7-9月	10-12月
<p>4月7日(月) <b>調査員と歩く ふなばし自然散策マップ</b> (募集終了)</p> <p>田喜野井・薬円台コース</p> <p>四季を通じて樹木を楽しむコースをマップ作成者の説明を聞きながら歩きます。</p>	<p>7月20日(日) <b>三番瀬の生き物調べ</b> 予備7月21日(月)</p> <p>干潟(三番瀬)の生き物に直接触れることにより、自然の素晴らしさ、大切さを体感します。</p>	<p>10月26日(日) <b>船橋三番瀬 クリーンアップ</b> (予定)</p> <p>ふなばし三番瀬海浜公園の砂浜の清掃の後、野鳥や干潟の生き物の自然観察会を行います。朝一番はきれいな富士山が期待できます。</p>
<p>6月7日(土) <b>船橋市環境フェア</b></p> <p>市内で活躍する団体の活動を展示したり、環境に関する様々な情報を集めました。子どもイベント広場では、木の実工作が楽しめます。</p> <p>会場：中央公民館 (館前広場・4・5・6F)</p>	<p>8月8日(金) <b>夏休みセミの抜け殻調査</b> 運動公園 8月11日(月) 小室公民館 8月17日(日) 行田公園</p> <p>セミは夏を代表する昆虫です。セミの抜け殻を調べることにより公園・緑地の自然度が分かります。調べ方を学ぶ入門コース(2回)と行田公園で調査を行う実践コース(下旬)の2コースを開催します。</p>	<p>11月19日(水) <b>調査員と歩く ふなばし自然散策マップ</b> 上山・馬込沢コース</p> <p>緑と水辺に囲まれたコースをマップ作成者の説明を聞きながら歩きます。(詳細は今後発表します)</p>



6月 環境フェア



10月 三番瀬クリーンアップ



11月 自然散策会

## ご相談下さい。こんなとき

### 光化学スモッグが出たら



自動車や工場などから排出された窒素酸化物や炭化水素(ガソリンやシンナーなど)が、夏の強い紫外線を受けて光化学反応を起こし、光化学オキシダントが作られます。

### 光化学スモッグ発生条件

- 強い日差し
- 高温
- 風が穏やか

光化学スモッグによる影響は、目がチカチカしたりのどに痛みをおこしま

### 公害相談窓口

悪臭、騒音など環境のことでご心配なことがあったら、ご相談ください。

連絡先：市役所環境保全課  
☎ 043-436-2452

すが、ひどい場合は頭痛や吐き気を感じることもあります。

### 注意報が発令されたら

- ・屋外になるべく出ないでください。
- ・運動を控えてください。



### 被害が発生したら

健康被害があった場合には、うがいをして涼しい場所で衣類を脱ぎし休息してください。

症状が治まらないようであれば、もよりの医療機関の診断を受けてください。

### 光化学スモッグ情報

市環境保全課のホームページでは、詳細な光化学スモッグ注意報の発令情報を確認することができます。

また、「ふなばし安全・安心メール」に登録すれば、携帯電話等に注意報が配信されます。登録をご希望の方は、ホームページをご覧ください。

## 団体紹介

### 船橋メダカの学校

「自然をもっと身近に」を合言葉に、生態系や食物連鎖を考慮して、メダカを通じて自然との共生の大切さを訴え続けて7年になります。生き物の活動や繁殖の場を整備するとともに、観察会を開催し、自然に対するマナーやルールを学ぶ場として活用しています。

### 昔の里山の再生

昭和30年代の海老川上流は、水は清く、自然も豊かで、夏にはホタルが飛び交い、川や池にはメダカ、カエルが泳いでいました。そんな昔の里山の復元を目指し、「夏見の泉かんさつ池」を整備しています。

### 増えてきた生き物

キショウブを植え、木製パレットをしき、日陰を作りました。また、湧水を集め、北谷津川(海老川上流)につなげました。

そうすると、ハゼなどが川からやってきました。

こうして、少しずつ生き物の種類が増え、昔に戻りつつあります。

### 招かざる客

けれども困ったことが発生しました。池にアメリカザリガニ、カダヤシ、ウシガエルなどの外来生物を放す人がでてきたのです。これらの外来生物は、繁殖力が強く、在来の種を押しつけてその数を広げる傾向にあります。

このため、会では看板を立てて持

ち込み禁止を訴えるとともに、防除せざるを得なくなりました。

### 探さないで「夏見の泉」

自然の再生は試行錯誤の連続です。また、外からの影響に弱く、簡単に元に戻ってしまいます。

いましばらく、そーっと見守って下さい。しばらくこの場所は、内緒にします。

お許し下さい。



# 始まっています温暖化防止の取組

今、市民、事業者、環境団体による様々な取組みが市内で始まっています。今回、紹介する団体は、その設立時期はまちまちですが、船橋の実情を踏まえ、地球温暖化防止とごみの減量、また、自然環境の保全と結びつけ、未来志向の環境保全活動を続けています。

## ①アースドクターふなばし

平成19年7月に発足したばかりです。千葉県知事から委嘱された「千葉県地球温暖化防止活動推進員」のうち、船橋市在住の皆さんを中心に現在24名の会員で活動しています。

### 会の目的と活動

主な活動目的と内容は、地方自治体や各種団体、企業、市民と積極的に連携して、地球温暖化防止の意識向上の推進と普及を図ることです。

具体的な活動は次のとおりですが、今年は既に公民館での出前講座(4回)や船橋市生き生き展に参加するなどその活躍をアピールしています。

1. 船橋市民としての地球温暖化防止活動を行う。
2. 県、市、各種団体などが行う事業に協力する。
3. 地球温暖化活動防止についての研修会、展示会、出前講座、講師派遣

- 等の必要な活動を行う。
4. 行政、市民、企業などに対して提案・提言を行う。
  5. 地球温暖化防止についての、自己研鑽・調査等を行う。
- その他目的達成に必要な活動を行う。

### 会からのアピール

温暖化防止は待たなし！我々は、もはやその知識を得る(知る)より、行動する(やる)ときに来ているという認識のもと、今後は、今年度の活動の中での課題を反省しながらも活動の方向には自信を持って、さらに活発に活動していきたいと考えています。

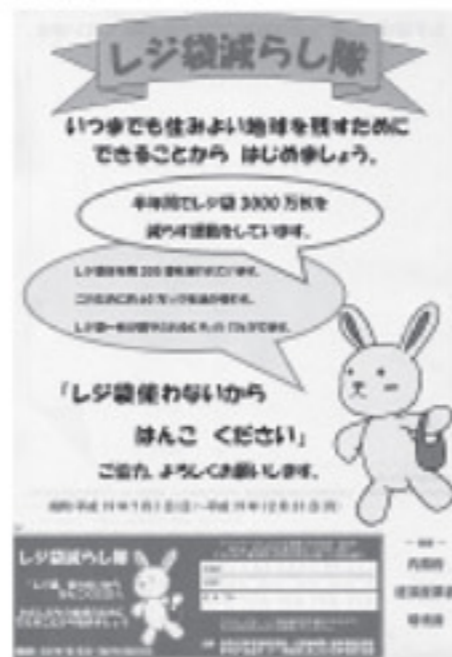


夏休み子ども環境講座(宮本公民館)

## ②船橋市生活学校運動推進協議会

「半年間でレジ袋を3000万枚削減しよう」を目標に全国規模のキャンペーンが平成19年7月から行われた。市内でこの運動を推進しているのは船橋市生活学校運動推進協議会の皆さんです。

「レジ袋1枚から9gのCO<sub>2</sub>が発生します。いつまでも住みよい地球を残す為、すぐにできることから、始めましょう。」とレジ袋を減らして、やさしい環境づくりを進めています。



## ③「地球温暖化防止とごみの減量」をテーマにシンポジウム開催 船橋市自治会連合協議会

地球温暖化防止とごみの減量はともに船橋市が抱える大きな環境課題です。

「ごみの減量は、限りある地球の資源を守り、地球温暖化防止に大きなかわりを持つことから、日常生活の中でごみ減量に努力する。」との視点から、平成19年11月10日、「地球温暖化防止とごみ減量を考える」シンポジウムが船橋市自治会連合協議会の主催で開催されました。

本市地球温暖化対策地域推進計画策定委員会委員長による地球温暖化防止の基調講演の後、小学生、中学生パネラーから学校で取り組んでいる「ごみ対策」等について活動体験の発表がありました。



シンポジウム(中央公民館)

# あなたも参加、ストップ温暖化

## 市民が参加する地域協議会の設立を予定しています

地球温暖化対策の推進のため、市民、事業者、千葉県地球温暖化防止活動推進員等が参加する(仮)ふなばし地球温暖化対策地域協議会を設置します(下図)。

計画に基づく温室効果ガスの削減目標の達成を目指し、地球温暖化防止に向けた各主体の自発的、具体的な行動を促進するための中核的な役割を担っていきます。

また、国際機関や国、県や近隣市町村、温暖化防止に取り組む団体と連携、協力して推進します。

## ストップ温暖化出前講座を開きます

地球温暖化の原因や影響、家庭でできる防止の取組みなどについてオーダーメイド感覚で講座内容を設定します。

町会、自治会の会館、マンションの集会所など希望場所に出向き、啓発器材を用いてやさしく解説します。

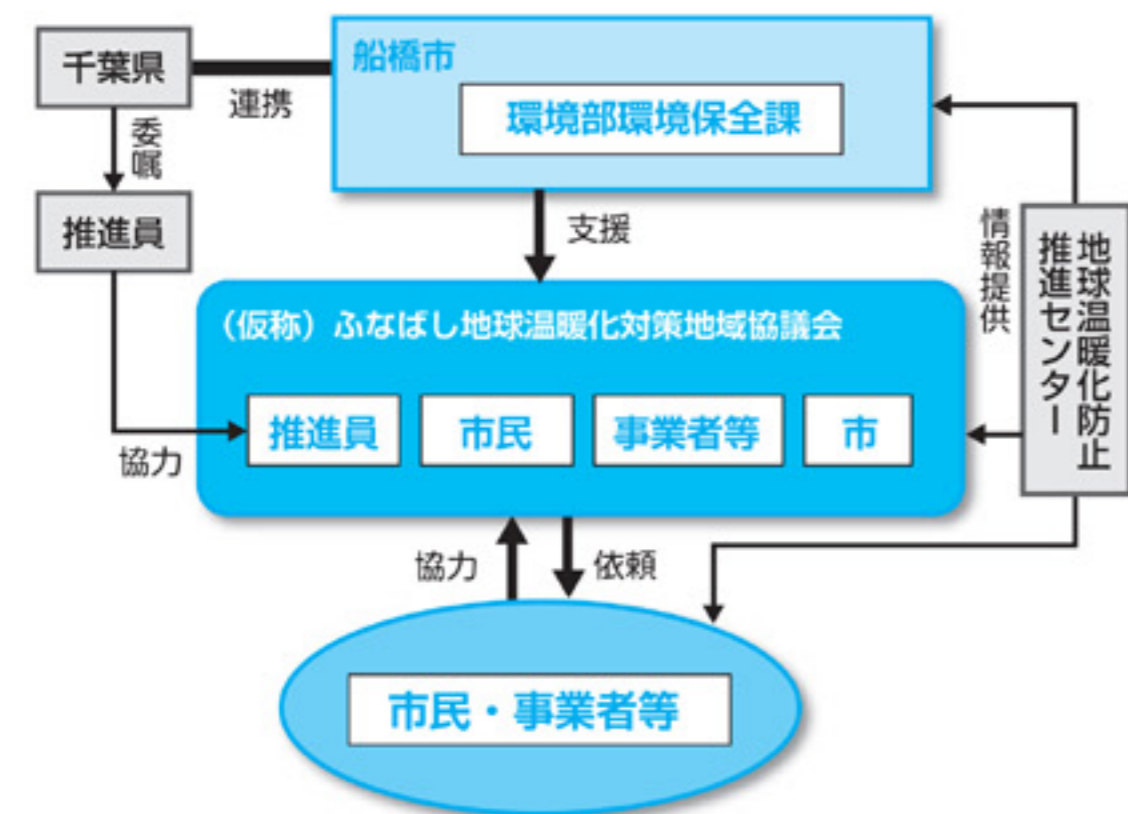
20名以上の方が集まれば、直接市環境保全課(☎047-436-2454)または船橋市生涯学習推進本部(〒273-8501 船橋市湊町2-10-25 ☎047-436-2897)までお申し込み下さい。

## この夏は緑のカーテンを育ててみませんか

夏季にヘチマ、ゴーヤ等のつる性植物で両側の窓を覆って日差しをさえぎることにより、室温の上昇を防ぎ、冷房にかかる電気量の節減を図ってみませんか。

4月から市のホームページに緑のカーテンの手引きを掲載します。

また、5月上旬に希望する市民の皆様を対象にゴーヤの苗と育て方の手引きの配付を予定しています。詳しくは広報ふなばしと市のホームページでお知らせします。



計画を着実に進めるための推進体制を表しています。「地域協議会」が中核的な役割を担って、具体的なアクションプランの策定や実行を図っていきます。



## チャレンジしましょう「CO<sub>2</sub>ダイエット宣言」!

地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>(二酸化炭素)をみんなで減らそうという活動が「CO<sub>2</sub>ダイエット宣言」です。

冷房の設定温度、テレビなど家電製品の使用時間、シャワーの使い方、エコドライブなど様々な取組の中から、これからやってみようと思う取組を選び、「CO<sub>2</sub>ダイエット宣言」していただきます。

第1回目、夏の「CO<sub>2</sub>ダイエット宣言」を5月~7月の3ヶ月間募集

します。

取り組む内容は、4面に掲載の「市民の取組」の具体例とほぼ同じです。宣言用紙は現在作成中ですが、でき次第お知らせする予定です。

環境省、経済産業省などで構成されるダイエット宣言実行委員会からは、宣言者20人に一人の割合で苗木がもらえることになっています。こうした苗木は公園等に植樹していきます。

船橋市は環境保全課が窓口となって団体登録します。

今年の夏は、「CO<sub>2</sub>ダイエット宣言」にチャレンジしてみませんか。

# 地球温暖化と二酸化炭素

## 温暖化のメカニズムと影響

地球は、太陽エネルギーで温められ、温められた熱の一部が宇宙に放出されます。大気中の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)やメタンなどは「温室効果ガス」と呼ばれ、太陽のエネルギーによって温められた熱を宇宙へ逃がさない働きをしています。熱の放出と保温のバランスがうまくつり合っていると地球の平均気温は約14℃に保たれ、生き物が暮らすのにちょうど良い環境になるのです。

しかし、温室効果ガスが大量に増えると地球がどんどん暑くなってしまいます。これを地球温暖化といいます。(図①)

## ①地球温暖化のメカニズム



## ②地球温暖化の影響

- 海面水位の上昇による沿岸域の浸食  
1990年から2100年までに海面が18~59cm程度上昇
- 異常気象の増加と水資源への影響  
洪水や干ばつの増加・農業用水需給への影響や渇水の増加
- 生態系への影響  
移動速度の遅い植物の枯死や、生態系全体の崩壊
- 農業生産への影響  
米生産では収穫量の減少や不安定化
- 感染症の増加  
熱射病の増加や熱帯性マラリアの流行の可能性

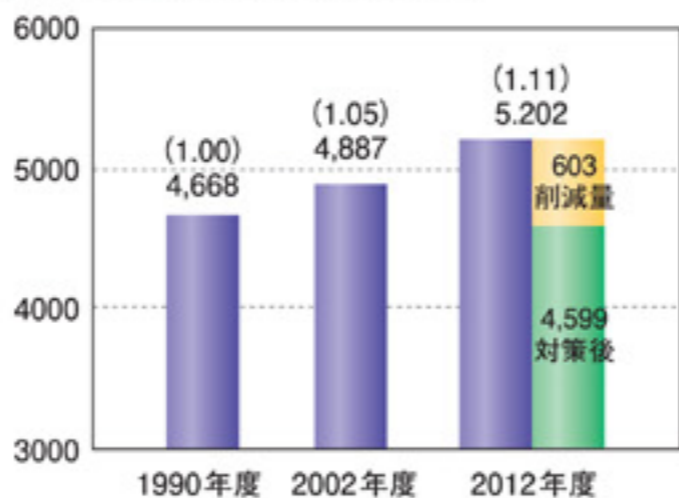
このまま地球温暖化が進んで気温が上がると世界中の様々な場所で図②のような悪い影響が出ると心配されています。

## 船橋市からの排出量と削減見込み

地域推進計画をつくる中で、船橋市から排出される温室効果ガスを計算しました。

結果はグラフ③のように1990年(基準年度)が466万8千トン、2002年(現況年度)が488万7千トン、2012年(目標年度)は520万2千トンになると予想されました。

## ③温室効果ガスの排出量(船橋市)



## ④温室効果ガス削減の検討項目(単位:千t-CO<sub>2</sub>)

(1) 基本的な対策実施による削減	405
①自主行動計画等業界団体等の取組による削減	339
②省エネ判断基準の普及推進による削減	60
③省エネ法における省エネルギー対策の推進による削減	7
(2) 市民・事業者の取組による削減	51
①市民・事業者の自主的取組による削減	35
②部門別の取組推進による削減	16
(3) 全国的な温暖化対策の推進による削減	95
①高効率給湯器・空調機の普及促進による削減	18
②住宅・建築物の省エネ性能の向上対策による削減	45
③コージェネレーションの普及による削減	13
④クリーンエネルギー自動車の普及による削減	8
⑤新エネルギーの導入による削減	10
(4) その他ガスの削減	52
合計	603

船橋市における2012年度の市民一人あたりの温室効果ガス排出量を1990年度比で10%削減することを目標とします。

地域推進計画をつくる中で、船橋市から排出される温室効果ガスを計算しました。

結果はグラフ③のように1990年(基準年度)が466万8千トン、2002年(現況年度)が488万7千トン、2012年(目標年度)は520万2千トンになると予想されました。

これは、京都議定書の目標(基準年比で6%削減する)は達成できません。

そこで、どうすれば温室効果ガスを減らせるか検討しました。

その結果、④のような取り組みを実行すれば、60万3千トンの削減が可能であると予測しました。

## 目標は一人あたり10%削減

2012年(目標年度)の予想排出量(520万2千トン)から削減量(60万3千トン)を引くと459万9千トンとなります。

温室効果ガスの排出量は、電気、ガスといったエネルギーの使用量に比例し、電気やガスの使用量(検針票)で削減量が確認できます。

そこで、船橋市全体の排出量を指標とせず、一人あたりの排出量を指標(目標)にしました。

船橋市の人口も基準年は53万3千人でしたが、現況年は56万人に増え、目標年には58万3千人になると予想

されます。

一人ひとりががんばれば、目標を達成できます。

「船橋市内における2012年度(目標年)の市民一人当たりの温室効果ガス排出量を1990年度(基準年\*)比で約10%削減する。」

※総量(千t): 4,668→4,599 (-1.5%)  
一人当たり(t): 8.8→7.9 (-10%)

## きょうから始まる温暖化対策

地球温暖化がこれ以上進むと地球の未来はどうなるのでしょうか?

地球の環境をこれ以上壊さないように、環境にやさしい社会づくりをしなければなりません。

温暖化を防止するために、国はいろ

いろな決まりごと(京都議定書目標達成計画や法律など)をつくったり、企業は環境にやさしい技術を開発しています。

## 家庭での温暖化対策

毎日の生活スタイルをちょっと見直すだけで、地球温暖化の原因である二酸化炭素を減らすことができます。

まずはみんなで、できることから始めてみましょう。

## 市の温暖化対策

普及啓発を通じて、市民、事業者等への情報提供、環境保全活動への支援、市の事務・事業における率先行動の推進等を行います。

## 船橋市のクリーンエネルギー対策

ごみを焼却する際の「熱」で高温高圧の蒸気を作り、その蒸気でタービンを回して発電します。これを廃棄物発電と言い、太陽光発電、風力発電と同じ新エネルギーの一種です。

市内の2ヶ所ある清掃工場では、これまで工場内で使う電気の半分以上をこの廃棄物発電で賄っていましたが、南部清掃工場では、余った電気を電力会社に販売する為の売電システムを整備しました。

普段私たちが使っている電気は、火力発電所や原子力発電所からの電気が多くを占め、水力発電や地熱発電、太陽光発電等の新(再生可能)エネルギーはわずかです。

廃棄物発電のような新エネルギーによる発電が増えると地球温暖化の原因となるCO<sub>2</sub>の削減につながります。経済性に優れた温暖化防止対策として今後大いに期待されます。

# 市民の取組

※イラストは環境省「地球温暖化ファクトシート」より

## 編集後記

創刊号では、地球温暖化問題を中心に取り上げました。

今後も本市を取り巻く環境問題をお知らせして参ります。また、環境保全活動に積極的な個人や団体を広く紹介していきたいと考えています。

この環境新聞に対するご意見ご感想を市環境保全課(〒273-8501 環境保全課 エコふなばし係、047-436-2487、電子メール kankyohozen@city.funabashi.chiba.jp)までお寄せ下さい。

次号は平成20年12月発行の予定です。